

1 結核の状況

(1) 平成16年の結核の状況

福岡県における結核の発生状況については、1年間で新たに結核にかかったとして届出のあった人は1,295人で、人口10万人あたり25.6人（罹患率^(*1)）である。

福岡県の罹患率は全国よりも高く、全国第42位（ワースト6位）となっている。

全国においては、平成9年から平成11年に増加していた罹患率は平成12年から減少に転じている。福岡県においても同様に、平成12年から減少している。

また、結核のために治療が必要な人は県全体で1,267人で、人口10万人あたり25.0人（有病率^(*2)）である。

福岡県の有病率も罹患率と同じように全国よりも高く、全国第44位（ワースト4位）となっている。

福岡県及び全国において、結核の有病率は減少傾向にある。

さらに、結核で死亡した人は県全体で92人で、人口10万人あたり1.8人（死亡率^(*3)）である。

福岡県及び全国において、結核の死亡率は横ばいの状態が続いている。

また、新たに結核を発病した人の年齢としては、60歳以上が6割以上を占めている。特に、70歳以上は約5割近くを占めている。

罹患率、有病率、死亡率の推移

	罹患率		有病率		死亡率	
	全国	福岡県	全国	福岡県	全国	福岡県
平成11年	34.6	36.9	38.6	43.7	2.3	2.4
平成12年	31.0	32.2	33.1	37.4	2.1	2.3
平成13年	27.9	30.9	28.5	33.4	2.0	1.9
平成14年	25.8	28.1	25.4	30.5	1.8	1.8
平成15年	24.8	27.7	23.3	29.5	1.8	2.0
平成16年	23.3	25.6	21.1	25.0	1.8	1.8

* 非定型抗酸菌陽性を除く。

(2) 政令市・保健福祉環境事務所別の状況

県の13保健福祉環境事務所と北九州市、福岡市、大牟田市の16カ所を比較すると、まず、罹患率（低いほど結核患者の発生が少ない）のベスト及びワースト3は、以下のとおりであり、最大で3倍以上の較差が見られる。

ベスト3	ワースト3
朝倉保健福祉環境事務所（14.0）	嘉穂保健福祉環境事務所（47.1）
宗像保健福祉環境事務所（16.0）	山門保健福祉環境事務所（35.2）
京築保健福祉環境事務所（20.1）	鞍手保健福祉環境事務所（32.8）

有病率については、以下のとおりであり、最大で3倍以上の較差が見られる。

ベスト3	ワースト3
朝倉保健福祉環境事務所（10.8）	嘉穂保健福祉環境事務所（36.3）
宗像保健福祉環境事務所（15.3）	八女保健福祉環境事務所（34.5）
筑紫保健福祉環境事務所（20.3）	大牟田市（29.3）

*1 罹患率

1年間に発病した患者数を人口10万対率で表したもの。

$$\text{新登録者数} / \text{人口} \times 10 \text{万}$$

*2 有病率

年末現在において、治療を要する患者数を人口10万対率で表したもの。

$$\text{年末現在の治療患者数} / \text{人口} \times 10 \text{万}$$

*3 死亡率

1年間に結核で死亡した患者数を人口10万対率で表したもの。

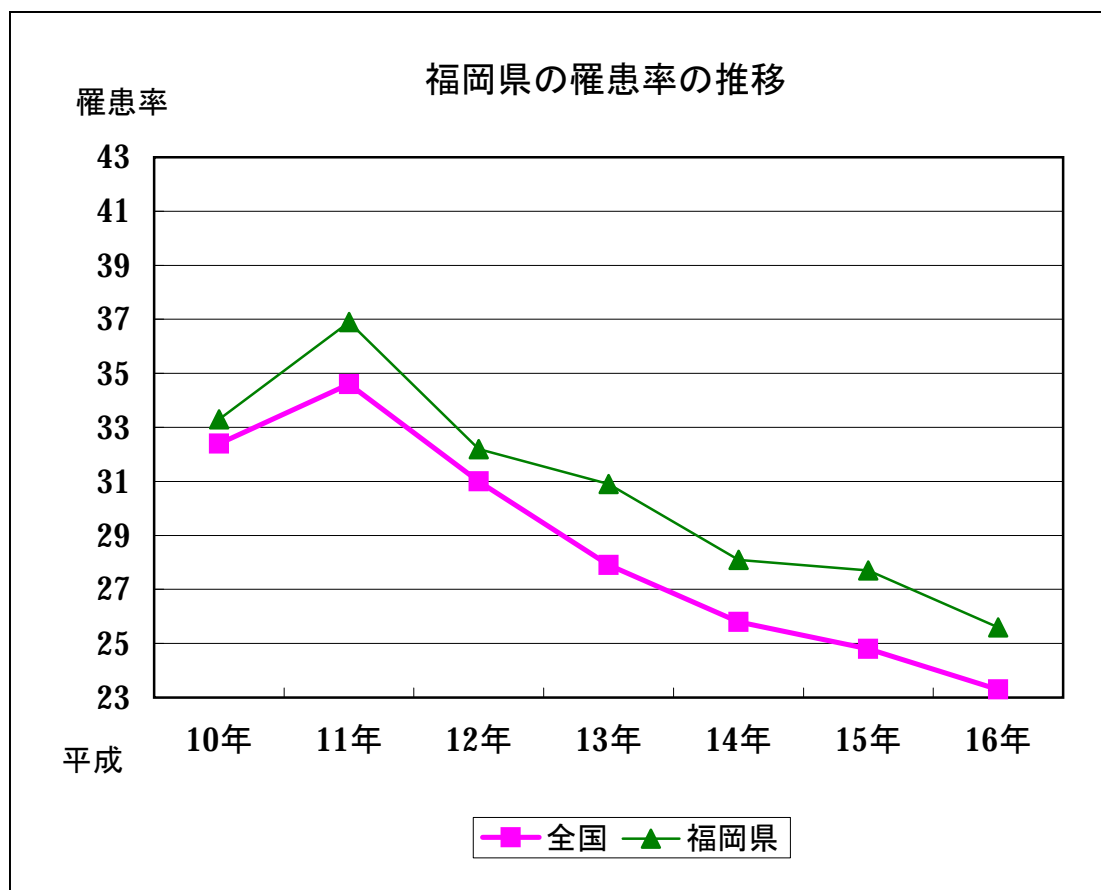
$$\text{全結核死亡者数} / \text{人口} \times 10 \text{万}$$

(2) 罹患率の推移

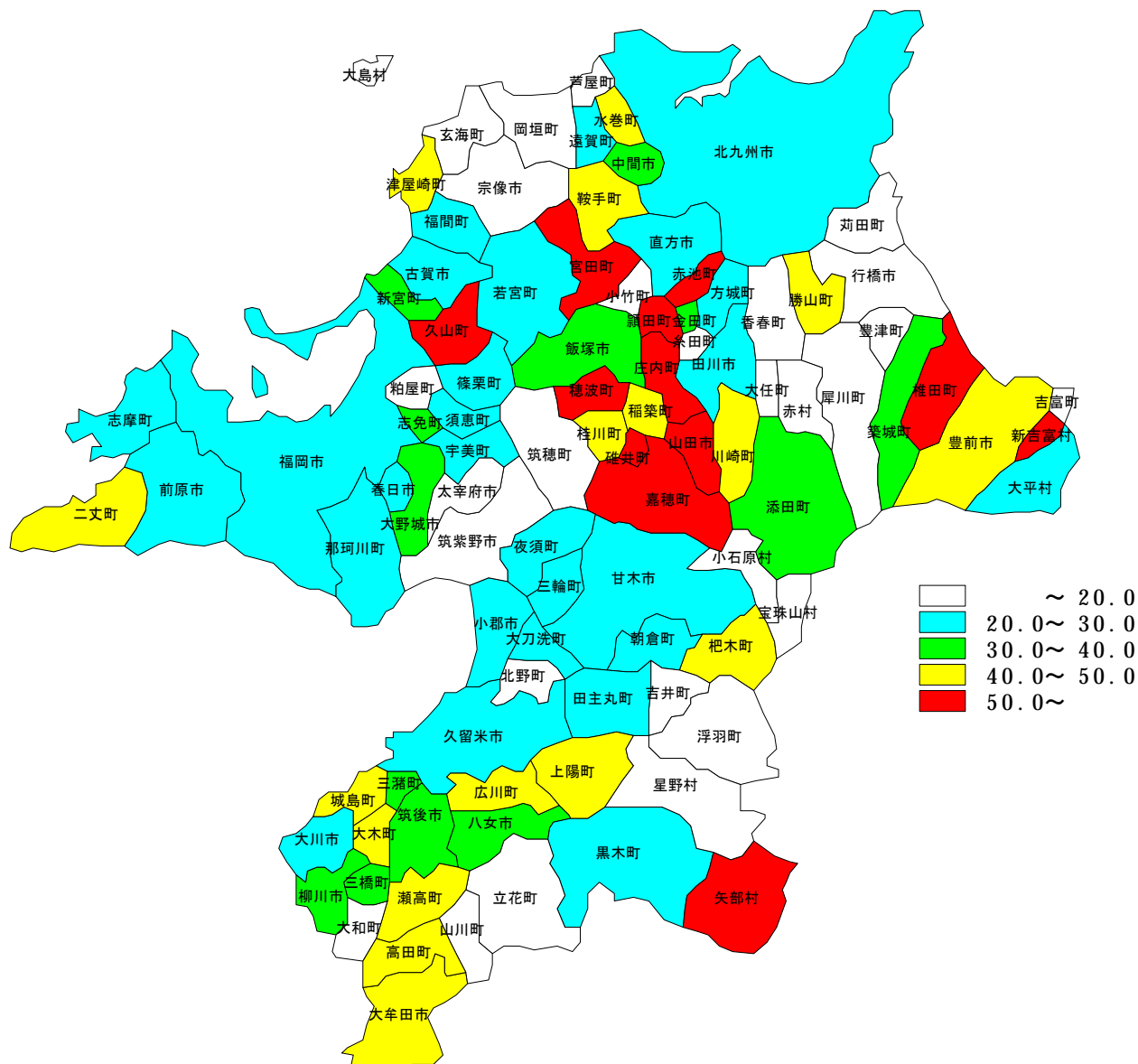
表 罹患率の推移(非定型抗酸菌陽性を除く)

	全 国		福岡県	
	新登録患者数	罹患率	新登録患者数	罹患率
平成10年	41,033	32.4	1,660	33.3
平成11年	43,818	34.6	1,845	36.9
平成12年	39,384	31.0	1,613	32.2
平成13年	35,489	27.9	1,553	30.9
平成14年	32,828	25.8	1,415	28.1
平成15年	31,638	24.8	1,398	27.7
平成16年	29,736	23.3	1,295	25.6

注 平成10年から非定型抗酸菌陽性は別掲扱いとされています。



(3) 平成16年 市町村別にみた全結核罹患率(非定型抗酸菌陽性を除く)
13~15ページ参照

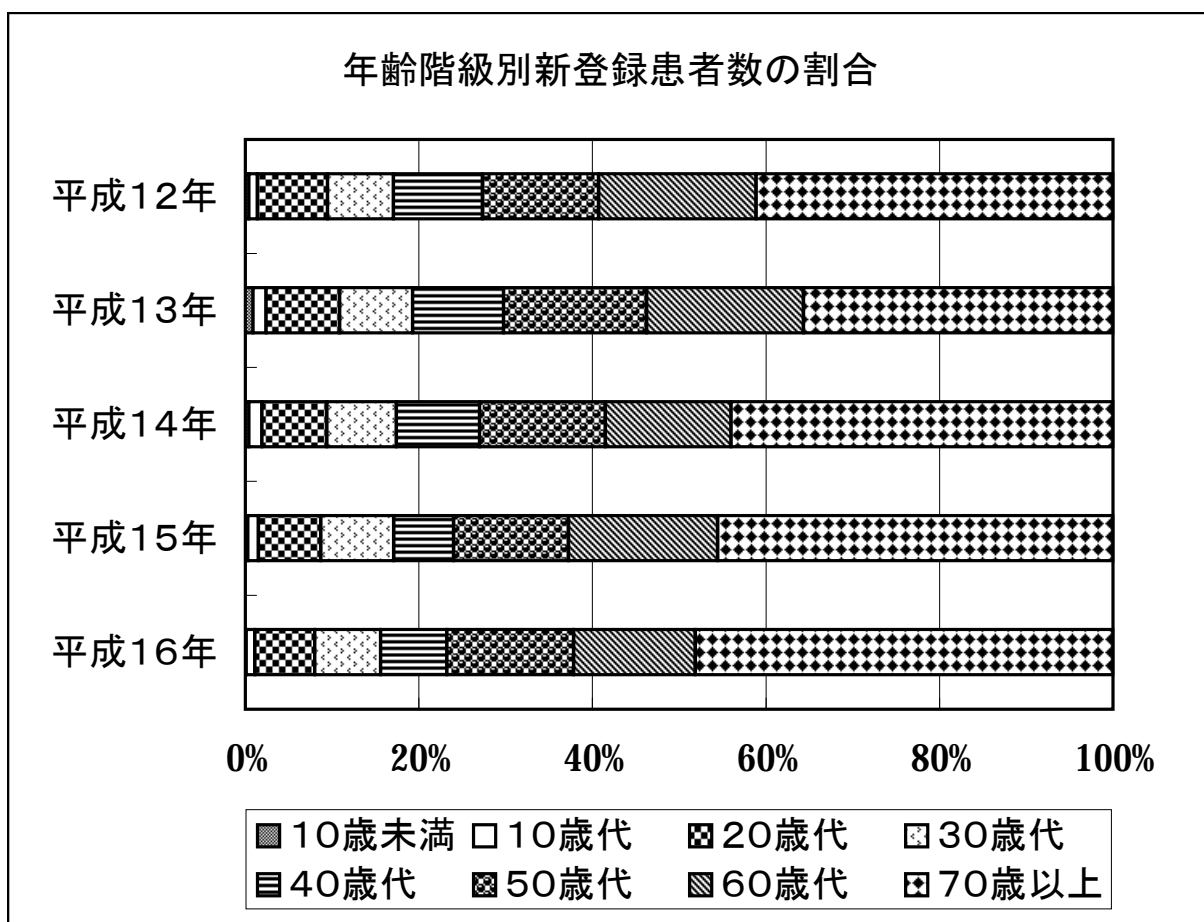


(注) 罹患率=新登録患者数/人口×10万
 従来、結核患者に含まれていた非定型抗酸菌陽性者は、平成10年より別掲扱いとなった。

(4) 年齢階級別新登録患者の割合(H16年)

単位 %

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
10歳未満	0.4	0.9	0.4	0.3	0.1
10歳代	1.0	1.5	1.5	1.2	1.0
20歳代	8.1	8.5	7.5	7.2	6.9
30歳代	7.6	8.4	8.0	8.4	7.6
40歳代	10.2	10.5	9.6	6.9	7.6
50歳代	13.4	16.5	14.5	13.2	14.6
60歳代	18.2	18.1	14.5	17.2	14.0
70歳以上	41.1	35.7	44.0	45.5	48.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

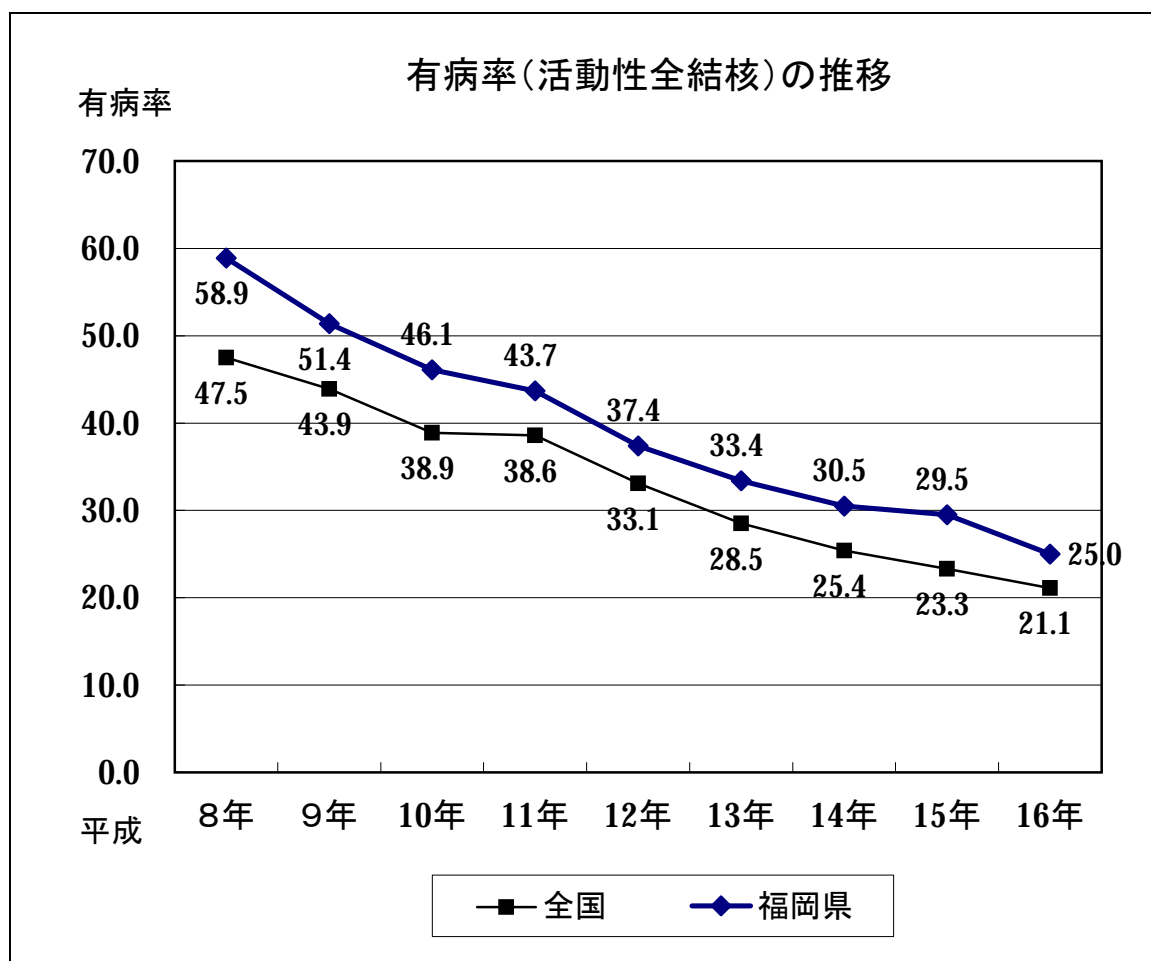


(5) 有病率の推移

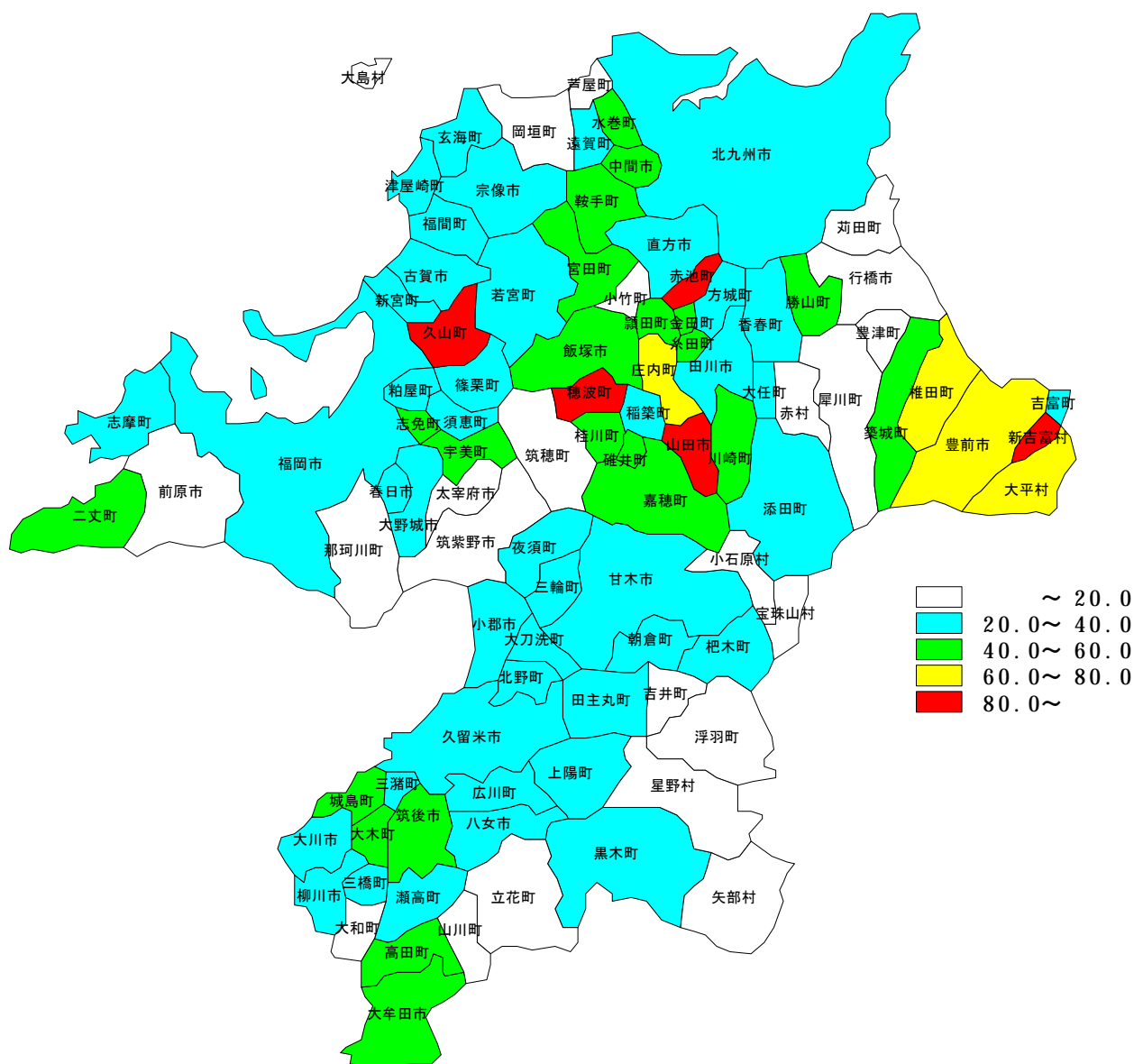
表 有病率(活動性全結核)の推移

	全国		福岡県	
	患者数	有病率(%)	患者数	有病率(%)
平成8年	59,760	47.5	2,914	58.9
平成9年	55,409	43.9	2,593	51.4
平成10年	49,205	38.9	2,297	46.1
平成11年	48,888	38.6	2,185	43.7
平成12年	41,971	33.1	1,875	37.4
平成13年	36,228	28.5	1,680	33.4
平成14年	32,396	25.4	1,539	30.5
平成15年	29,717	23.3	1,490	29.5
平成16年	26,945	21.1	1,267	25.0

注 有病率＝活動性全結核／人口×10万



(6) 平成16年 市町村別にみた全結核有病率(非定型抗酸菌陽性を除く)
24~26ページ参照



(注) 有病率 = 年末現在活動性全結核患者数 / 人口 × 10万
 従来、結核患者に含まれていた非定型抗酸菌陽性者は、平成10年より別掲扱いとなった。

(7) 年次別結核死亡者数及び死亡率

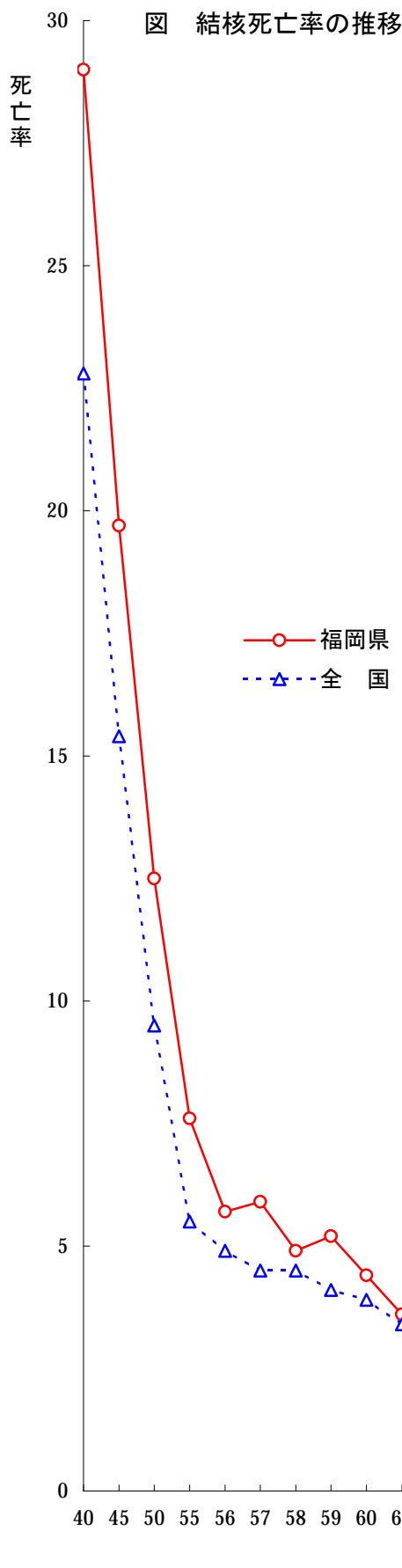


表 結核死亡者数及び死亡率の推移

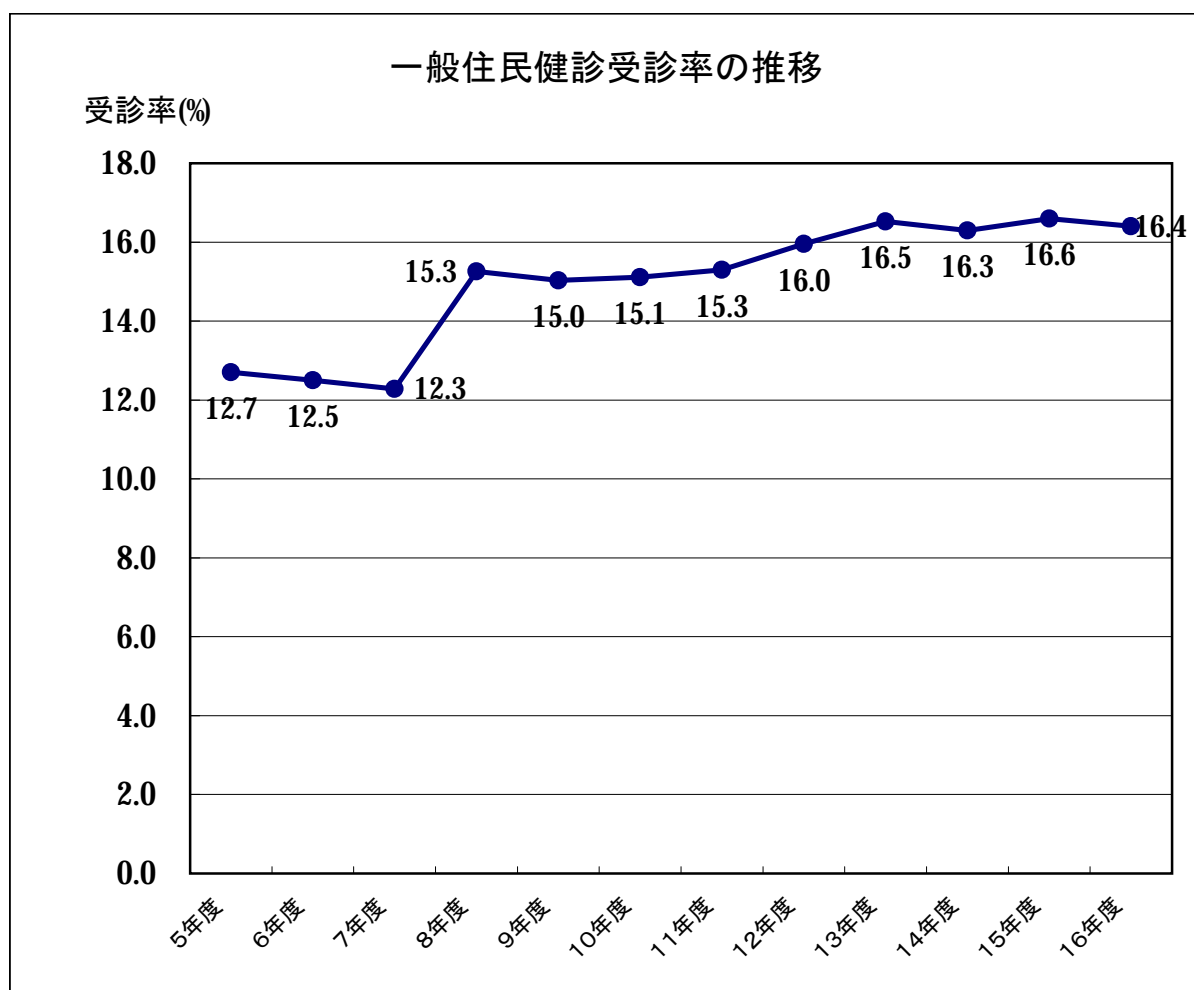
年次	結核死亡者数		死亡率	
	全国	福岡県	全国	福岡県
昭和40年	22,366	1,149	22.8	29.0
昭和45年	15,899	788	15.4	19.7
昭和50年	10,578	533	9.5	12.5
昭和55年	6,439	346	5.5	7.6
昭和56年	5,698	259	4.9	5.7
昭和57年	5,343	273	4.5	5.9
昭和58年	5,329	227	4.5	4.9
昭和59年	4,950	243	4.1	5.2
昭和60年	4,692	207	3.9	4.4
昭和61年	4,170	169	3.4	3.6
昭和62年	4,022	176	3.3	3.7
昭和63年	3,872	180	3.2	3.8
平成元年	3,527	154	2.9	3.2
平成2年	3,664	165	3.0	3.4
平成3年	3,325	137	2.7	2.9
平成4年	3,347	126	2.7	2.6
平成5年	3,249	145	2.6	3.0
平成6年	3,094	125	2.5	2.5
平成7年	3,178	112	2.5	2.3
平成8年	2,858	98	2.3	2.0
平成9年	2,742	105	2.2	2.1
平成10年	2,795	78	2.2	1.6
平成11年	2,935	118	2.3	2.4
平成12年	2,656	115	2.1	2.3
平成13年	2,488	93	2.0	1.9
平成14年	2,316	90	1.8	1.8
平成15年	2,337	102	1.8	2.0
平成16年	2,328	92	1.8	1.8

注 死亡率=死亡数/人口×10万

平成15年の人口は10月1日現在の推計人口を使用
資料 人口動態統計(確定数)の概況(厚生労働省)

(8) 一般住民健診受診率の推移

	対象者	受診者	受診率(%)
平成5年度	1,593,881	202,969	12.7
平成6年度	1,593,881	198,637	12.5
平成7年度	1,593,881	195,710	12.3
平成8年度	1,200,289	183,185	15.3
平成9年度	1,200,289	180,459	15.0
平成10年度	1,200,289	181,425	15.1
平成11年度	1,200,289	183,109	15.3
平成12年度	1,200,289	191,473	16.0
平成13年度	1,200,289	198,348	16.5
平成14年度	1,200,289	195,582	16.3
平成15年度	1,236,340	204,951	16.6
平成16年度	1,236,340	202,683	16.4



(9) 平成16年 市町村別にみた一般住民健康診断受診率

.....35~39ページ参照

